

2024年度

ニチイキッズわかみや保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月14日（火）～1月31日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月7日（金）
	実施方法	事前にアンケートを実施し、施設長が内容を取りまとめ提示。その後会議において全員で共有。保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	園内に保育理念・保育目標を掲示。子どもたちがおもいっきり遊び込める内容を計画・実施した。ホームページやチラシ、玄関掲示などを通して保護者や地域の方に周知を図った。
子どもの発達援助	生活や遊びを通して乳幼児期にふさわしい体験が得られるように、総合的に保育計画を立て、職員全員で連携しながら保育を行った。 感覚刺激・運動刺激・食育・保健安全と4つの活動を軸に保育を実施した。
保護者に対する支援	年3回保育参加の行事を行い、園生活の様子を見ていただく機会を作った。保育参加の際にアンケートを配布し保護者の悩みや思いを聞き取れるよう配慮した。面談シートも作成し、子どもの様子を3ヶ月ごとに保護者に報告。安心して預けてもらえるよう職員全員で取り組めた。
保育を支える組織的基盤	月2回園内研修を実施。社内研修や外部研修にも前年度より多く参加することが出来た。園内研修については、内容がマンネリ化している為、テーマや実施方法などを検討する必要がある。

総評
<p>感覚刺激遊び・運動刺激遊び・食育・保健安全、この4つを柱として1年間保育活動を行った。月齢に沿った目標を定め、クラスごとに職員一人一人が日々丁寧に保育を行った。地域交流については、連携園だけではなく、近隣の高校や小学校、ケアセンターやデイサービスなどにも出向き、職員、子どもにとっても貴重な体験となったため、次年度も是非継続していきたい。保育の質向上を目指し、キャリアアップ研修などの外部研修にも積極的に参加した。食育については毎月の活動の他に、青森農協の協力を得て、春から「米作り」を実施。5月のバケツ稲からはじまり、藁を使った正月飾りまで1年を通して活動することが出来たので継続していく。保健安全については、月1回の実施だったため、習慣化や知識の定着に繋がらなかった。今後、実施回数など改善していく必要がある。次年度も引き続き職員体制を整え、充実した行事を実施できるように取り組み内・外部へ発信することで、選ばれる保育園づくりを目指していきたい。</p>